

答 申（案）

平成 18 年 10 月 23 日

新潟市総合計画審議会

近年、本市を取り巻く状況は、少子高齢化の急速な進行や、かつての急成長が期待できない国内経済、様々な面における国際化の進展、人びとの価値観の「モノ重視からココロ重視」へのシフトなど、大きな変換期に差し掛かっています。

このような状況の中で、新潟市は平成 17 年に 14 市町村による合併を果たし、さらに 19 年 4 月には、本州日本海側初の政令指定都市へ移行しようとしており、これにを合わせ策定される「新・新潟市総合計画」は、まさに変動の時代における本市の指針となる計画であると言えます。

本審議会は、平成 18 年 7 月 12 日付けで、総合計画素案の審議についての諮問を受け、3つの部会を設置して、これまで各部会、会長・副部会長会議及び全体会を延べ 22 回開催し、総合的・専門的な審議を重ねてまいりました。

審議に当たっては、総合計画のうち「基本構想」については、主に本市を取り巻く「社会の潮流」や、都市形態・地理条件・産業構造など本市が持つ「特性」などを的確に捉えた方向を示しているか、という「視点」に立ち、また「基本計画」については、主に基本構想で示す方向に即しているか、市民に分かりやすい表現・構成になっているか、という「視点」に立って素案の内容を精査いたしました。

この結果、素案は、基本構想・基本計画ともに審議に当たったの視点に概ね概ね合致するものと評価します。

なお、計画の実施に当たっては、基本構想で掲げる「分権型協働都市」「田園型拠点都市」「日本海交流都市」「くらし快適都市」「教育文化都市」の5つの都市像の精神に則り、厳しさを増す社会状況の中、市民と行政が知恵と力を出し合って、交流人口の拡大や産業振興による都市の活性化、安全なくらしづくり、健康・福祉の充実や明日を担う人材の育成などを進め、豊かな市民生活の実現に努めるよう要請します。

また、社会や人びとの価値観が大きく変化する状況において、総合計画の弾力的な運営を図るとともに、総合計画の市民への普及に努めることにより、市民と行政が認識を共有しながら協働のまちづくりを進めることを要請します。

このほか、以下に掲げる本審議会の意見・要望について、計画素案に反映させるよう要望します。

「新・新潟市総合計画」素案への意見・要望

計画全体について

産業の振興は都市の活性化に不可欠な要素であることから、計画での重点的な記載を検討されたい。

新潟市は宣伝が上手くない、都市のアピールを主軸の一つとする方向で検討されたい。

「男女共同参画社会の実現」に力点を置いた計画づくりに努められたい。

若者にとって魅力あるまちづくりという視点に立った計画の策定を図られたい。

人口増について、県内人口の奪い合いではなく、県外からの人口の呼び込みによる均衡ある発展を目指されたい。

充実した交通基盤の活用は重要であり、計画中に十分反映されたい。

全体に「明日の新潟を切り開く」といった勢いのある前向きな表現に心掛けられたい。

計画中に「目標・指標」を表記することについて検討されたい。

計画策定後のチェック体制について十分検討されたい。

用語の説明は、巻末の用語集ではなく、同じページに表示される方が分かりやすいと考えられるので工夫されたい。

計画中に産業・貿易・財政などに関するデータを掲載されたい。

時代の潮流

政令市としての日本における位置付けと拠点性について明確化されたい。

県内における本市の役割について明確化されたい。

市民参加やNPOについて、より踏み込んだ記述を検討されたい。

「人口減少、少子高齢化」に男女共同参画の視点が含まれているとは思いますが、男女共同参画は見出しにあった方がよいと考える。検討されたい。

高齢化はマイナスなイメージがある。「長寿社会」「成熟社会」などが良いと思われるので、表現について検討されたい。

「国際化と都市間競争の進行」において、経済の視点からの記載が弱いと思われるので、記述について検討されたい。

環境問題は世界的な潮流として重要であり、項目の追加について検討されたい。

基本構想

1 都市像

(1) 地域と共に育つ、分権型協働都市

「協働」など、一般市民に聞きなれない用語には、補足しながらの丁寧な文章となるよう工夫されたい。

「協働のまちづくり」の中にボランティアの記載があるが、捉え方によっては、行政が無償の奉仕を求めると取られかねないので、記述について検討されたい。

目線として若者は落としやすい。「大切にされる若者」の視点に立った記述について検討されたい。

「男女共同参画社会の実現」の追加について検討されたい。

総合計画の中で「地域」をどう捉えているのかを明記されたい。

「区としてのまちづくり」の部分を丁寧に記載する必要があるとおもわれるので、記述について検討されたい。

(2) 大地と共に育つ、田園型拠点都市

「新エネルギーの推進」について、記載の追加を検討されたい。

(3) 世界と共に育つ、日本海交流都市

インフラを活用しきれていない面があるので、高速道などの活用に関する記述について検討されたい。

後の超高齢化社会に対応した公共交通に関する記述について検討されたい。

(4) 安心と共に育つ、くらし快適都市

高齢化については、「長寿社会が進み」にするなど、その項目の方向性に合わせた表現とした方が良いのではないかと検討されたい。

健康の概念が、自分が主体で行政が支援するという形に変わってきている。行政が責任を持つような記載は好ましくないため、表現について検討されたい。

(5) 市民と共に育つ、教育文化都市

快適なくらしづくりの記載が具体性を欠いているので、記述について検討されたい。

教育は記載されているが文化の記載がない。人を育てる取り組みにおいても文化は重要である。記述について検討されたい。

「教員の質の向上」に関する記述について検討されたい。

基本計画

1 総論

(1) 将来人口の推計

人口の視点からも、子どもを生ま・育てやすく、女性が働きやすい環境が必要と考えるので、この点について検討されたい。

若者の定住人口策についての記述を検討されたい。

(2) 土地利用の方針

市域が広がっているのに「コンパクトなまちづくり」は分かりにくい。記述について工夫されたい。

新潟は平坦で自転車の利用者も多いことから、自転車道の整備に関する記述の追加について検討されたい。

交通網の整備のほかに、情報網の充実も地域間の格差をなくす上で重要と考えられるので、記述の追加について検討されたい。

「新潟市は水の都と呼ばれる」という記載があるが、新・新潟市全体では唐突感があるので、記述について検討されたい。

本市の農業は生産性が低く、生産性を高めることは大きな課題であり、農業基盤の整備は農村景観の整備より重要と思われるので、記述について検討されたい。

農村集落の環境整備は、農業者だけでなく都市部の人も含め、多くの人によって基盤を守っていく必要があると思われるので、記述の追加について検討されたい。

市内の各種拠点の位置付けにおいて、仮称7区は「生活拠点」の位置付けのみで「地域拠点」の位置付けがない。この点について検討されたい。

3 政策施策別プラン

(1) 地域と共に育つ、分権型協働都市

市民と共にまちを育てる

「男女がこれまでの社会慣行に」とあるが、むしろ役割を強制される社会制度が問題なので、「社会制度・慣行」とすべきと考える。検討されたい。

分権型政令市の基盤の強化で、「地域コミュニティ協議会」「区自治協議会」と出てくるが、説明がないのでお互いの関連性が分からない。記載について工夫されたい。

個性ある地域づくり

「にいがた地元学」のように、説明を聞かないと分からない単語を標題からは外して、文中に説明を付して記載した方がよいと考える。記述について工夫されたい。

市民と行政に信頼のきずな

行財政の効率化について、何をするのかより具体的に明示されたい。

(2) 田園型拠点都市

田園型政令市にふさわしいまちの姿

- 「都市化社会から都市型社会へ」は、市民にはわかりづらいことから、表現を検討されたい。
- 無秩序な都市の形成は正さなければならないが、「市街地の拡大は抑制を基本とする」だけでは、表現として強すぎることから、表現を検討されたい。
- 野生生物の保護・管理の部分にもっと踏み込んだマネジメントの考えを入れてはどうか。検討されたい。

都市と田園が恵みあう関係

- 農業に関する関心を高めるために、また、人材育成のためにも小学校からの農業教育が必要であると思う。記述について検討されたい。

田園型政令市を際立たせる食と花

- 農産物の輸出に当たっては、世界の潮流を認識した上で、相手国の理解を得られることが大切であることを認識されたい。

市民と築く環境先進都市

- 環境に関する技術協力も進んでいることから、「国際協調」ではなく「国際協力」ではないか。検討されたい。

(3) 日本海交流都市

都市を活気づける交流人口の拡大

- 水上バスの宣伝や，舟運による各河川を結びつけた「川の回廊」づくり，「北前船」の活用など，水辺を活用したにぎわいづくりについて、記述の検討をされたい。
- 「水の都」か「みなとまち新潟」を適切に使い分け，市民や市外からの人たちにも周知できるよう宣伝することが必要であり、この点を配慮されたい。
- 政策的に新潟市全体が「花」だというイメージをもっと出して行く方向で検討されたい。
- 港のそばに，本町マーケットのような商業施設が必要であることから、今後検討されたい。

産業が生まれ育ち都市がにぎわう

- 漆器は，新潟市の伝統的地場産業としての市民の認知が非常に低いことから，認知度の向上を図ることが必要である。また，“伝統的地場産業”から，“伝統工芸の育成を図る”と表現を修正してはどうか。検討されたい。
- 新潟市独特の何をアピールし、どういう分野の優良企業を誘致するのかという方向性について、配慮されたい。

日本海政令市の拠点性の強化

- 駅から空港のアクセスの向上で，新幹線や新交通システムなどの手法や短期的・中期的での具体策について検討されたい。

(4) くらし快適都市

毎日の安全な暮らしを守る

- 犯罪の防止の中で、「自分の安全は自分で守る」という表現は、市が何もやらないように感じる。表現について検討されたい。
- 河川の保全と整備の中で、中ノ口川については、上流は改修が進んでいるが、下流は遅れている。計画期間である8年間の取り組みの記載を、検討されたい。

心豊かに健康でいきいきすごす

- 水俣病に関する記載について検討されたい。

こどもたちの健やかな育ちの支援

- 未来アクションプランに掲載された施策との整合を図られたい。
- 子どもの居場所づくりとして、児童館や児童センターのほか、屋外での遊び場の充実も必要である。校庭の芝生化も含め、検討されたい。

長寿社会をいきいきすごす

- 高齢者へのサービスの提供だけでなく、老人パワー・老人の就労という視点も必要であり、長寿社会を担う高齢者、というようなイメージとなるよう、記述について検討されたい。

障がいのある人の自立支援

- 自閉症等の発達障がい者への支援について、「成人期まで」と限定せず、「生涯にわたって」といった表現がふさわしいのではないかと検討されたい。

快適で安全な生活基盤づくり

- 今後重要になってくる「河川交通」に関する記載について検討されたい。
- 区バスによる区内の交通の確保のほか、既存のバス路線との関連など区間を移動する際の交通の確保が必要ではないかと検討されたい。

教育文化都市

地域と家庭がひとを育てる

地域活動の場として、公民館を柱として展開する部分を記載した方がよいと考える。検討されたい。

子育て家庭への支援や学習機会の提供は、具体的に取り組むことを記載した方がよいと考える。検討されたい。

学びを支援する学習環境

教職員の採用・登用などは政令市となつての大きな柱であり、その部分や取り組みの具体的な記載について検討されたい。

文化の振興

現況と課題には、「国際的な文化，文化交流」「旧市町村にある地域文化」「開港5港としてのみなとまち文化」の記載が必要と考える。検討されたい。

まちづくりに生かす生涯スポーツ

プロスポーツチームの記載のみでアマチュアスポーツがない。むしろ早起き野球，学校レベルでのスポーツなど，アマチュアスポーツに関する記載を検討されたい。

住民主体のスポーツを支える組織の構築で，健康とスポーツについては，もっと掘り下げて具体的に記載した方がよいと考える。検討されたい。

4 重点プラン

計画全体

15のテーマを5つの都市像に沿った形で整理を図られたい。

文化・芸術やスポーツの施策は重点プランに必要と考える。テーマの追加を検討されたい

テーマ選出の考え方を明確化されたい。

「芸術」というキーワードで、文化の施策を記載されたい。

市民と行政が協働を進める上で、相互の情報共有が必要であることから、そのような表現を図られたい。

協働による地域づくりの推進

都市イメージの発信

海外観光の振興の中で中国・台湾等となっているが、韓国なども記載した方がよいと考える。検討されたい。

食と花の魅力づくり

「食料自給率」をさらに上げて行くという記述を検討されたい。

水辺のまちづくり

水辺のまちづくりに「海辺」も含めてはどうか。検討されたい。

環境先進都市の構築

バイオマスの利活用について、より広い範囲の取り組みについて検討されたい。

安全なくらしの確保

NGO，NPOなどとの連携による地域防犯力の向上の記載を検討されたい。

水害対策の強化で，全部対応するのは難しい。床下浸水までは我慢してもらうことも必要であり，その点について検討されたい。

健康社会の実現

健康社会の実現で，スポーツについては，区自治協議会準備会や住民説明会の中でも意見が出ているところであり，健康づくりの中に含めていけばイメージが湧くし，訴える力があると思う。検討されたい。

子育て環境の整備

子育ての一環として、企業に関する取組みに関するについて検討されたい。

優れた人材の育成

優れた教育職員の育成に関する記載を検討されたい。

5 区ビジョン基本方針

文章表現は、区自治協議会準備会や地域審議会と協議をしながら作成したこともあり、区のやる気、特色が感じられるものについては、区の独自性を尊重することが望ましい。

生物と共生できる農村・農地のあり方について、農業比率の高い区において記載されたい。

区ビジョン基本方針策定に当たっての基本的なスタンスを明確化されたい。

1 区の施策の方向において、南浜町区の環境整備をどのようにして行くのか検討されたい。

3 区の施策の方向の中に、新潟市の「顔」として花などをもっとはつきり出した方がよいと思われるので、検討されたい。

4 区の担う役割の中の「副都心機能」という言葉について、他の区との整合を図る上で「副都心的機能」という表現も考えられる。この点について検討されたい。